

いのち・とき・なかま

豊中五中
学校だより
H28(2016)年
10.4 発行

第65回体育大会 無事終わる

天候に大きく影響され、開会までに苦勞の多かった大会でした。1日順延となりましたが、9月30日(金)、第65回体育大会は、みんなの笑顔で成功裡に幕を閉じました。

予行は晴天に恵まれたものの、水曜日は午後から雨、予定していた木曜も朝から雨で中止。準備や練習があまりできず、段取りに苦心しましたが、教職員、2年生や係生徒を中心に当日の早朝から、グラウンド整備、応援旗立て、入退場門の設置、椅子並べ等、あわただしく準備。1時間ほど開会時間を繰り下げて、本番を迎えました。



雨上がりの曇り空の中、心地よい緊張感とわくわくした気持ち、「やっと始められる」と意気込んでスタートしました。ピストルの合図で入場行進。開会式では、副会長による開会の言葉、生徒会長のあいさつ、校長あいさつ、大きな声で選手宣誓、競技上の注意と続きます。

『オリンピックのあった今年、今日は生徒の皆さんが主役です。競技と応援と係りの仕事と、全てが一体となって大会は作り上げるもの。選手として、クラスや学年の一員として、係りの一員として、全力をつくしましょう』とあいさつをしました。きれいにそろった五中ストレッチでしっかり体をほぐし、個人種目から競技が始まりました。



50m走・100m走の個人種目、リレー種目とも、懸命に走る姿、迫力のあるレースがたくさんありました。事前に設定された目標タイムとの差を競う全員リレーは、文字通り全員が全力で走っていて、気持ちのバトンがつながっていました。障害物走、台風の日などが続きます。天気もよくなり、選手も観客も笑顔で盛り上がっていききました！



800m、400mリレーは気合十分、本気表情が伝わります。大声援の中、クラブ対抗リレーで午前の部が終了しました。

昼食をはさんで後半のスタートは、生徒会主催の大縄飛び。昨年、シャルウィダンスに代わって実施することとなり、「深めよう！クラスの絆」を目標に、昼休み等に練習してきました。また今年は合計回数だけでなく、入場の時間や声の大きさなどにも注目し、一層素敵な種目になりました。得点や順位に直接関係ないけれど、運動の得手・不得手に関係なく、みんなで取り組み、クラスや学年が仲良くまとまれました。みんなとてもいい表情で、成功だったと思います。



学年競技は1年「箱はこび」、2年「2人3脚スウェーデンリレー」、3年「騎馬リレー」でした。1年生は中学で初めての体育大会はどうでしたか？はつらつと元気に1年らしく頑張っていてよかったですね。箱はこびは、新しい種目でとても面白く、持ち方、渡し方にクラスで工夫のあとが見られました。リレーや長距離での頑張りも光っていました。今後が楽しみです。

2年生は元気のよさ、やるときはやる、底力を感じました。笑顔で楽しく盛り上がり、頑張る姿、いい表情がたくさんありました。2人3脚スウェーデンリレーは、苦勞していたけれど、一生懸命で、声援も一杯。去年より成長した姿が随所にありました。

3年は毎年すごいと思うけど、今年もさすがに最上級生。全体を引っ張ってくれて、気合と迫力を感じました。騎馬リレーは落っこちないか気がかりだったけれど、手を離さないよう、安全に気をつけつつ、全力で走っていました。

恒例のパワーアップリレーは、しんどい姿勢でも一生懸命。客席から声援があがりました。最後の混成リレーでは接戦もあり、先生チームも参加して、大きな歓声があがっていました。



最後のオープン種目（女子800m走、男子1000m走）は、疲れのある中、気力で走る姿に感動しました！出場した全員が立派でした。

閉会式では、競技の部、オープン種目、大縄飛びの表彰・結果発表が行われました。優勝、入賞したクラス、個人、おめでとうございます。賞状は取れなかったクラスも、全力で頑張っていたのは皆同じです。本当にお疲れ様でした。時間はきつかったけれど、いい大会になりました。「疲れたけれど、精いっぱいがんばったぞ」という満足感、充実感がつたわって来ました。



今回の体育大会。競技ではみんなの本気、一生懸命の姿がたくさんありました。全力で走っている姿は本当にカッコいい！今年のオリンピックの男子400mリレーで日本が銀メダルをとり、バトンタッチやチームワークが勝因と言われました。今回も、バトンタッチや互いにカバーしあうところが良い結果につながっていたのではないかと感じました。

応援は、競技中、フィールドではクラスの仲間同士、声援する声がよく聞こえました。特に、全員リレーやクラブ対抗リレーは、すごく盛り上がり、一段と大きな拍手や声援がありました。クラス席での応援は、去年と同じく、まだまだやれる力があるなあと感じます。次年度にむけ、工夫してみてもどうでしょう。

係りの仕事は、競技の合間で忙しかったと思うけれど、自分達で大会を運営できていました。声をかけて集合整列を促し、青白赤の小旗で確認の合図をして、アナウンス、入場、競技、退場までの流れがスムーズにできていました。審判＝体育委員、召集誘導＝議員、用具準備＝環境美化、採点表彰＝図書、救護＝保健、放送＝放送部、そして生徒会役員、ご苦労様でした。

普段と違う姿、新しい発見、頑張る姿、準備不足を補う動きがたくさんありました。五中生の持ち味、本気、成長を随所に感じることができました。自信を持って、これからの学校生活に活かして行って下さい。

見学・声援をいただいた保護者の皆様、運営に協力していただいた PTA 役員、委員の皆様、本当にありがとうございました。あつく御礼申し上げます。



大会の成果を今後につなげよう

年間の大きな活動である体育大会が無事終わり、後半の学校生活がはじまります。体育大会の頑張りを、ぜひ日常生活に活かしていきたいものです。

■まずは**10月12日(水)からの中間テスト**。気持ちにメリハリをつけ、「やるときはやる」、チャイム着席を徹底し、1時間1時間の授業を大切にしていきましょう。

■1年生は、今年度初めて行う11月の「**校外学習**」に向けた取り組みが始まります。また、実行委員会を中心にすすめられている「**ふれあい子どもカーニバル**」は、五中が大切にしてきた地域とのつながりを深めていく大切な行事です。アイデアを出し合っていきましょう。

■2年生は、3年間の中学校生活のちょうど中間点。これから後半に入っていきます。11月の**職業体験 (CUL)** の準備が学年で進められています。すでに体験先が発表されています。将来の自分の生き方や、働くことの意味等を考える機会にしてほしいと考えています。体験先へのあいさつをこれから行っていきます。

■3年生は、進路に向けて担任との「**二者懇談、三者懇談**」が始まります。3日には、今後の予定や心構えなどについて話を聞きました。進路便り『羅針盤』も引き続き発行されていきます。これから、進路に向けた色々な「壁」が待ち受けています。「自分だけはやってるけど、、、」に留まらず、お互いのことが考えられる、分かちあえる63期生でありたいものです。



後期生徒会活動に向け、選挙管理委員会開かれる

大会後の10月3日に、生徒会選挙管理委員会が開かれました。前期の活動が終わっていき、後期の生徒会役員を決めていくことになります。これまで引張った3年生の思いや活動を受け継ぎ、発展させていくために、1・2年生の積極的な立候補を期待しています。クラスでも委員、係を決めていきます。学校生活を自分達の手で作りに上げていきましょう！

時間割固定についてお知らせ

これまでの時間割については、事前に翌週以降の時間割が書かれた用紙を配布し、その時間割を確認して、生徒に授業の用意をしてもらっていました。しかし、これからは各クラスの時間割が基本的に固定になります。理由は「何曜日にどの教科があるか固定することにより、一定のリズムで学校生活がおくりやすくなるため」です。もちろん、時間割が変更になることもありますので、そのときは担任から生徒に連絡するようにしています。なにとぞご理解いただきますよう、よろしくおねがいいたします。